# 清須市企業立地促進基本計画 (案)

# ■パブリック・コメント実施後の修正点

	修正後(新)		修正前(旧)
9ページ	・■図表 2-4 の表中「経済センサス	9ページ	・■図表 2-4 の表中「経済センサ
	-活動調査※」と表記見直し		ス実施年※」
	・■図表 2-4 の下の、「※経済セン		・■図表 2-4 の下の、「※経済セン
	サス <u>-活度調査</u> は、~略~」と表		サス <u>実施年</u> は、~略~」と表記
	記見直し		見直し
	・■図表 2-4 の下に、「表内の年次		・記載なし
	表記と数値の関係は下記表を参		
	考」と「(参考) 表」を新規追加		
64ページ	・■図表 5-1 の表グラフ名称を「春	6 4ページ	・■図表 5-1 の表グラフ名称「春日
	日白弓・鳥出・郷ケ島地区 土地利		白弓・鳥出・郷ケ島地区 土地利
	用 <u>状況</u> 」と表記見直し		用割合」
67ページ	・■図表 5-2 の表グラフ名称を「春	67ページ	・■図表 5-2 の表グラフ名称「春日
	日舟付・長久寺地区 土地利用状		舟付·長久寺地区 土地利用 <u>割合</u> 」
	況」と表記見直し		
70ページ	・■図表 5-3 の表グラフ名称を「土	70ページ	・■図表 5-3 の表グラフ名称「土田・
	田・上条地区 土地利用状況」と表		上条地区 土地利用割合」
	記見直し		
71ページ	・■図表 5-4 の名称「3地区の現状	7 1ページ	・■図表 5-4 の名称「3地区の現状
	土地利用 <u>状況</u> 」と表記見直し		土地利用割合」
76ページ	・■図表 6-2 下の※1「農用地比率	76ページ	・■図表 6-2 下の※1「農用地比率
	(0.8 <u>≒</u> 46.79ha/58.66ha)」と表記		(0.8 <u>=</u> 46.79ha/58.66ha) ∫
	見直し		

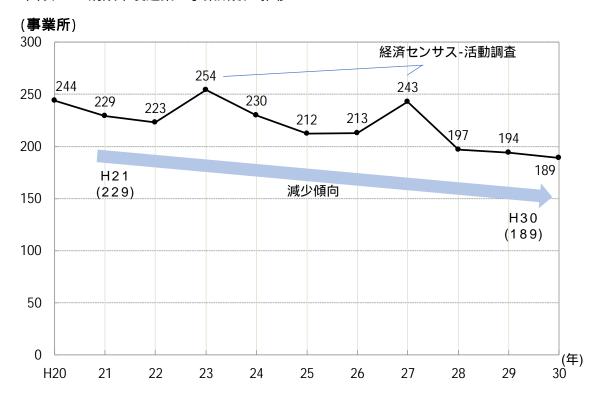
#### (2) 製造業の推移

事業所数の推移(図表 2-4)をみると、徐々に減少している状況にあり、10年前の平成21年の事業所数229と比べて平成30年では189であり、17%減少しています。一方、従業者数の推移(図表 2-5)をみると、近年は緩やかな増加状況がみられます。

<u>製造品出荷額等の推移(図表 2-6)をみると、平成 20 年のリーマンショック以降減少傾向がみられましたが、近年は増加傾向にあり、設備投資意向にもつながる状況</u>になっています。

工業用地敷地面積の推移(図表 2-7)をみると、近年大きな変化はなく、大きな工場閉鎖はみられません。<u>敷地当りの製造品出荷額等(図表 2-8)は、平成 26 年までは減少傾向も</u>みられましたが、近年は持ち直しており、新たな用地拡張につながる状況が確認されます。

図表 2-4 清須市製造業の事業所数の推移



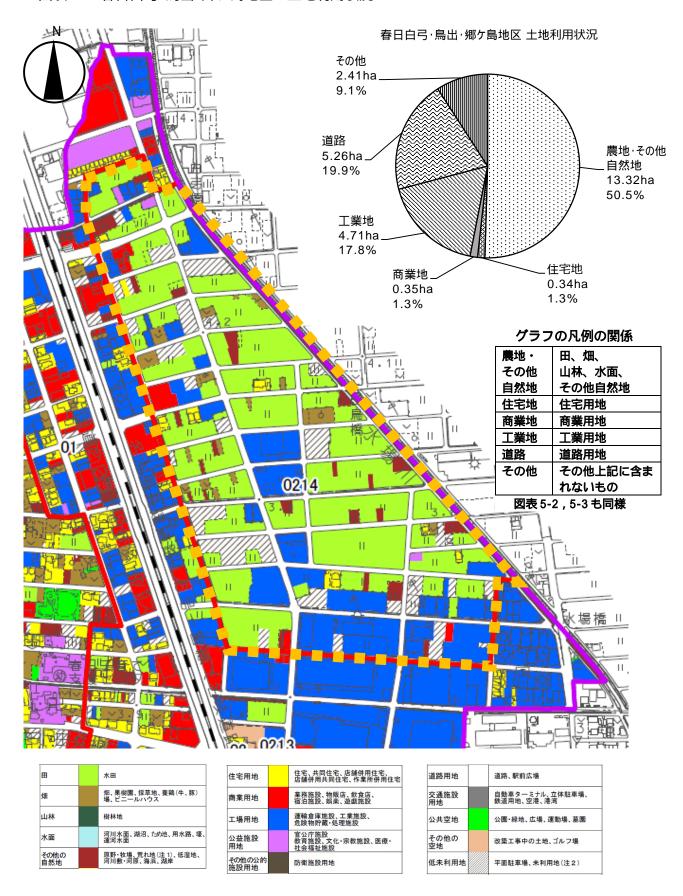
経済センサス-活動調査は、全数調査のため数値が上昇する傾向があります。

(資料)工業統計調査、H23、H27 は経済センサス 活動調査 表内の年次表記と数値の関係は下記表を参考

#### (参考)

· - /			
本書での 表記	調査	事業所数、従業者数	製造品出荷額等の数値
H20	平成20年工業統計調査	平成20年12月31日現在の数値	平成20年(暦年)1年間の数値
H21	平成21年工業統計調査	平成21年12月31日現在の数値	平成21年(暦年)1年間の数値
H22	平成22年工業統計調査	平成22年12月31日現在の数値	平成22年(暦年)1年間の数値
H23	<u>平成24年</u> 経済センサス-活動調査	平成24年 2月 1日現在の数値	平成23年(暦年)1年間の数値
H24	平成24年工業統計調査	平成24年12月31日現在の数値	平成24年(暦年)1年間の数値
H25	平成25年工業統計調査	平成25年12月31日現在の数値	平成25年(暦年)1年間の数値
H26	平成26年工業統計調査	平成26年12月31日現在の数値	平成26年(暦年)1年間の数値
H27	平成28年経済センサス-活動調査	平成28年 6月 1日現在の数値	平成27年(暦年)1年間の数値
H28	平成29年工業統計調査	平成29年6月1日現在の数値	平成28年(暦年)1年間の数値
H29	平成30年工業統計調査	平成30年6月1日現在の数値	平成29年(暦年)1年間の数値
H30	2019年工業統計調査	令和元年6月1日現在の数値	平成30年(暦年)1年間の数値

図表 5-1 春日白弓・鳥出・郷ケ島地区の土地利用状況



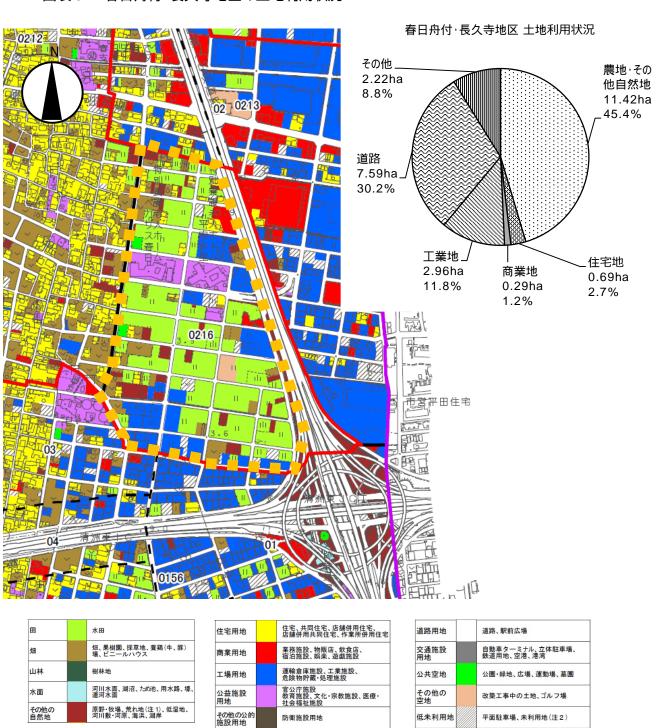
(資料)令和元年度 愛知県都市計画基礎調査

# (3) その他

朝日遺跡の埋蔵文化財包蔵地が、この地区の南東部に広がっている。全国的に有名な遺跡でもあり、過去の調査実績では、縄文・弥生初期・弥生中期・弥生後期・古代・中世の各時代の遺構・遺物が確認されている。

この包蔵地に建物等(工作物など)を建てる場合は文化財保護法に基づく届出等が必要となる。隣接地も試掘調査等でその要否の判断がされる。

図表 5-2 春日舟付・長久寺地区の土地利用状況



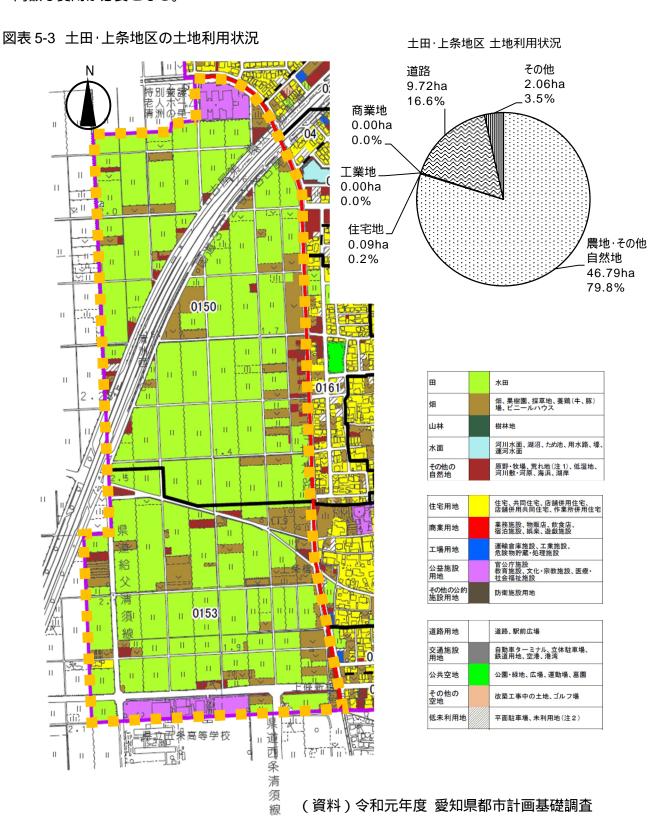
(資料)令和元年度 愛知県都市計画基礎調査

## (3) その他

この地区の北部に、土田遺跡の埋蔵文化財包蔵地が広がっている。この包蔵地に建物等 (工作物など)を建てる場合は文化財保護法に基づく届出等が必要となる。隣接地も試掘 調査等でその要否の判断がされる。

隣接するあま市では、国道 302 号を挟んで西側で企業庁による工業団地の整備が計画されており、土地利用計画の広域的な調整を検討していく必要がある。

この地区には宮田用水のパイプライン(1,800mm)が縦断しており、移設する場合は、 高額な費用が必要となる。



図表 5-4 3地区の現状土地利用状況

上段:面積、下段:構成比

	農地等	住宅地	商業地	工業地	道路	その他	総計
春日白弓・鳥出・郷ケ島	13.32ha	0.34ha	0.35ha	4.71ha	5.26ha	2.41ha	26.39ha
地区 ( 図表 5-1 )	50.5%	1.3%	1.3%	17.8%	19.9%	9.1%	100.0%
春日舟付·長久寺地区	11.42ha	0.69ha	0.29ha	2.96ha	7.59ha	2.22ha	25.17ha
(図表 5-2)	45.4%	2.7%	1.2%	11.8%	30.2%	8.8%	100.0%
土田·上条地区	46.79ha	0.09ha	0.00ha	0.00ha	9.72ha	2.06ha	58.66ha
(図表 5-3)	79.8%	0.2%	0.0%	0.0%	16.6%	3.5%	100.0%

その他自然地を含む

(資料)令和元年度 愛知県都市計画基礎調査

### (3) 産業用地需要に対応した計画規模

アンケート及びヒアリングで確認されている市内企業・市外企業からの需要面積は約67ha(市内企業分約10ha、市外企業分約57ha)については、計画対象期間にて、約58haの計画規模を確保する。

計画規模を超える用地需要については、計画期間の需要動向を踏まえつつ、土田・上条地区の名二環北側への配置を検討していくものとする。

図表 6-2 産業用地計画規模

	春日白弓・鳥出・ 郷ケ島地区 (約 26ha)	春日舟付·長久寺 地区 (約 25ha)	土田·上条 地区 (約 59ha) 名二環南側 (約 43ha)	計
短·中期 (計画期間)	約 13ha	約 11ha	約 34ha <sup>1</sup>	約 58ha
長期 (計画期間以降)			約 9ha	約 9ha
合計	約 13ha	約 11ha	約 43ha ²	約 67ha

- 1 対象面積 43ha に土田・上条地区の農用地比率 (0.8 46.79ha/58.66ha) を乗じた もの。
- 2 一部の道路拡張、貯留池分を除く概算用地供給規模。

図表 6-3 産業用地計画規模の配置

